

授 業 科 目		開講年次等	必修・選択の別	担当責任者
科 目 名 (コース名)	スポーツと医学	1年後期	必修	紺野 慎一
細目又はテーマ (ユニット名)	スポーツと医学			

学 習 目 標

一般目標 スポーツの功罪を医学的に理解するとともに、スポーツ活動を行う上で必要な医学的知識を修得し、医学学習の動機づけとする

- 行動目標
- ① スポーツと医学の各分野との関連について述べることができる。
 - ② スポーツにおける栄褒の重要性について説明できる。
 - ③ ドーピングの問題点について指摘できる。
 - ④ スポーツが心身に与える影響を列举できる。
 - ⑤ スポーツが疾病予防に役立つ理由を具体的に述べることができる。
 - ⑥ 年齢や性別に応じたスポーツの特性について説明できる。
 - ⑦ 主なスポーツ外傷と障害の種類とその対応を述べることができる。

評 価 方 法

講義前に出欠を確認する。最後に総合試験を実施して、評価を行う。出席すべき日数に達しない者には単位を与えない。

授 業 計 画

回数	月	日	曜日	時限	項 目	教 員 名	
1	10	6	木	Ⅲ	スポーツと医学概論	整形外科学	紺野 慎一 教授
2	10	13	木	Ⅲ	スポーツと栄褒	生化学	橋本 康弘 教授
3	10	20	木	Ⅲ	スポーツと外傷・障害(手・神経)	整形外科学	江尻 莊一 学内講師
4	10	27	木	Ⅲ	スポーツと内科	循環器・血液内科学	斎藤 修一 准教授
5	11	10	木	Ⅲ	スポーツと外傷・障害(上肢)	整形外科学	穴戸 裕章 講師
6	11	17	木	Ⅲ	スポーツと腰痛	整形外科学	矢吹 省司 准教授
7	11	24	木	Ⅲ	スポーツと小児	小児科学	三友 正紀 助手
8	12	1	木	Ⅲ	スポーツとこころ	神経精神医学	丹羽 真一 教授
9	12	8	木	Ⅲ	スポーツと女性	産科・婦人科学	小宮ひろみ 講師
10	12	15	木	Ⅲ	ドーピング	薬理学	木村 純子 教授
11	1	12	木	Ⅲ	スポーツと突然死	法医学	平岩 幸一 教授
12	1	19	木	Ⅲ	スポーツと予防医学	公衆衛生学	安村 誠司 教授
13	1	26	木	Ⅲ	スポーツと外傷・障害(下肢)	整形外科学	青田 恵郎 准教授
14	2	2	木	Ⅲ	呼吸・循環系の運動生理	細胞統合生理学	勝田新一郎 准教授